

ウラジオストク滞在に関する報告について（11 月分）

1. 11 月の実施事項及び行事等について

- 1 日 ロシア語学校引越し
- 8 日 囲碁大会（オータムフェスティバル）
- 21 日 日露コスプレショー
- 27、28 日 極東連邦大学 国際フェスティバル

2. ロシア語学校について

ロシア語の授業は「聞き取り」の授業が終了し、「読解」という授業に変更となりました。そのため 11 月より「文法」「会話」「ビデオ」「読解」の 4 科目の構成となりました。11 月に入り、9 月や 10 月のように、特定の国から大量に留学生が入ってくるということはありませんが、ロシア語学校では 1 年中いつでも留学生を受入れているので、数人程度ですが新しく留学をする学生が増えました。現在、私のクラスはアメリカ人 2 人、韓国人 4 人、日本人 3 人、中国人 1 人の計 10 人となっています。

また、個人授業も継続して行っており、一週間に 3 回のペースで、「文法」「読解」「手紙」「聞き取り」などの科目を学習しています。

3. ウラジオストク市内の状況について

・気候

11 月に入り、気温が低くなる日が増えました。雨が降ることはあまりなく、晴天の日が続いています。しかし、11 月の中旬には雪が降り始め、下旬には大荒れの天気が数日続きました。

下旬には気温も氷点下が続くようになっています。さらにウラジオストクは海が近い街のためか風がとても強く、体感温度は表示されている気温よりも低く感じます。また、降雪量は多くはないのですが、気温が低いため、なかなか溶けず、路面が凍ってしまうので、歩くときには注意が必要になってきます。

4. ロシア語学校の引越しについて

11 月 1 日（日）～2 日（月）にロシア語学校の引越しが行われました。ロシア語学校はもともと、昔の極東国立総合大学の付属校として街の中心部のアレウツカヤ通り 65 番地に併設されていました。しかし、極東国立総合大学は 2010 年にウラジオストク市内のいくつかの大学とともに統合されて、現在の極東連

邦大学となりました。その後、2012年にAPECのためにルースキー島に建設された会場や施設が、大学のキャンパスや寮として活用されることとなり、多くの学部や学生は新校舎へと移動しました。こうした中、留学生が多く学ぶロシア語学校は旧校舎に残されていたのですが、満を持しての引越しとなりました。

このロシア語学校の引越しは3年前から噂されており、今年こそ引越しということを経年言われていたそうです。そして、今年も8月には引越しと当初は言われていたのですが、9月、10月と延期されていたため、教員も含めて今年も引越しはないだろうと思っていました。しかし10月下旬に、11月1日(日)に引越しということが確実となり、ロシア語学校では引越しの話で持ちきりとなりました。何よりも寮がソ連時代の古い寮から2012年に建てられた最新の寮へと変わるということで学生たちは大きな期待を寄せていました。



(写真①：寮の引越しの様子)

11月1日(日)の引越し当日は大きな混乱はなく、思ったよりもスムーズに引越しが行われたように思います。ルースキー島の新しい寮や校舎はかなり綺麗でホテルのような施設となっていました。ただ、校舎の中でも使える教室などが限られており、時間割が毎週変わるなど11月は学校の運営自体はまだ安定していない状態でした。今後はこの新しい校舎や寮での生活となります。

また、大きなスーパーなどが近くにはなく、大学敷地内にいくつか小さな商店がある程度です。そのため、食料品や生活用品を買う時にはバスに乗って少

し街の方へ出る必要が出てきました。ただ、以前の寮とは違い、カフェや食堂が多くあり、夜遅くまで営業しているのので、そういった場所で食事をする機会が増えそうです。



(写真②)：ルースキー島、極東連邦大学校舎)



(写真③)：ルースキー島、極東連邦大学の付属寮)

5. 日露コスプレショーについて

11月21日（土）にウラジオストク市内で在ウラジオストク日本国総領事館が主催するコスプレショーが行われました。ロシアにおいても日本の漫画やアニメなどのサブカルチャーへの興味関心は高く、コスプレに関しても同様です。実際に9月下旬に行われたジャパンフェスティバル（在ウラジオストク日本国総領事館主催）の中で行われたコスプレショーでも相当な盛り上がりを見せ、ロシア人のコスプレに対する意識の高さを見ることができました。そして、今回のコスプレショーでは秋葉原から有名なコスプレイヤーも招待しており、本格的なコスプレショーということからか、会場に入りきれないほどの観客が集まりました。コスプレショー自体もかなり盛り上がりを見せ、特に人気のアニメ作品のキャラクターが登場した時などは歓声が起きるなど、ロシアにおいての日本のサブカルチャー人気を再確認することができました。



(写真④：コスプレショーの一場面)

6. 極東連邦大学 国際フェスティバルについて

11月27日（金）、28日（土）に極東連邦大学において国際フェスティバルが行われました。このフェスティバルは毎年行われており、極東連邦大学に留学している各国の学生がロシア人学生と協力して、自国の紹介やいくつかのイベント、国別料理の試食会や踊りなど様々な催しを行いました。今回、日本の留学生たちは習字や折り紙を紹介し、浴衣ショーを行い、試食会ではお好み焼き

と巻き寿司を作り提供しました。そして、ステージでの出し物ではソーラン節や、日本の芸能人 きゃりーぱみゅぱみゅの曲に合わせて踊るなどしました。

今回のフェスティバルでは、大学にアフリカからの留学生がかなりいることや、ベトナムからの留学生が多いことなど意外なことが分かり、それまで関わることができなかった人々と話すことなどができたので、大変興味深いイベントとなりました。



(写真⑤：国際フェスティバルの会場の様子)



(写真⑥：国際フェスティバルのステージでの出し物の様子)